



ミニトマトを育てよう



◇ミニトマトの日頃のお手入れ

- ・ミニトマトが元気に生育するための日頃のお手入れについて説明します。

◇ミニトマトの病害虫チェック

- ・実は、植物が弱ってしまうと害虫がつきやすくなるという傾向があります。ミニトマトの新芽の先にアブラムシはいませんか？ミニトマトの実のまわりにタバコガの幼虫が食べた小さな穴は開いていませんか？日頃からミニトマトの苗をよく見て確認しましょう。

◇ミニトマト 水のやり方

- ・ミニトマトは横にも縦にも根を十分に這わせますので、あまり頻繁に水をあげると深くまで根が生長しません。いい根を作るためにも、水やりは土が乾燥してから。水をあげるときは、しっかり鉢底から水が出るくらいまで、水と一緒に空気も根に届けるようなイメージで水をあげてください。
また、ミニトマトやトマトは水を少なめにした方が甘くなるといわれています。萎れない程度の控えめな水やりを心がけましょう。
ミニトマトは、あまり雨が当たってしまうと実が割れてしまったり、病気になりやすい傾向があります。梅雨のシーズンは軒下に移動するなどして、できるだけ雨が当たらないようにしてあげましょう。

◇ミニトマトのわき芽とは



上の画像のように、葉と茎の間から出てくる芽の部分を「わき芽」といいます。このわき芽を全て放置してしまうと、主枝の栄養分も奪ってしまい、充実した実が収穫できません。不要なわき芽を取り除き、甘いミニトマトに育てましょう。

◇たくさん完熟収穫するための仕立て方

ミニトマトの栽培期間に、たくさん完熟収穫できる2本仕立ての方法を紹介します（品種によって推奨する仕立て方は異なります）。

2本仕立て



主枝に咲く一番花のすぐ下のわき芽を伸ばして2本仕立てにします。それ以外のわき芽は摘み取りましょう。放っておくとドンドンわき芽が出てきます。1週間に2~3回はわき芽が出ていないか確認してください。

※大きくなりすぎたわき芽は無理に切り取らず、仕立ての本数を1本増やしてもかまいません。

◇支柱について



今は、ビニール紐ですが、各ご家庭で取り替えてくださっても構いません。

苗を支柱に誘引するときは、節の下に麻ひもを固定します。交差させることでズレずに固定することができます。枝を傷つけないように緩く結び、支柱側で結びましょう。

保護者の方へ

インターネットや独自のミニトマトの育て方を参考にして頂き、休校中は子どもと一緒に手入れをして頂きたいと思います。